

～はじめに～



みちこちゃん

まちおくん

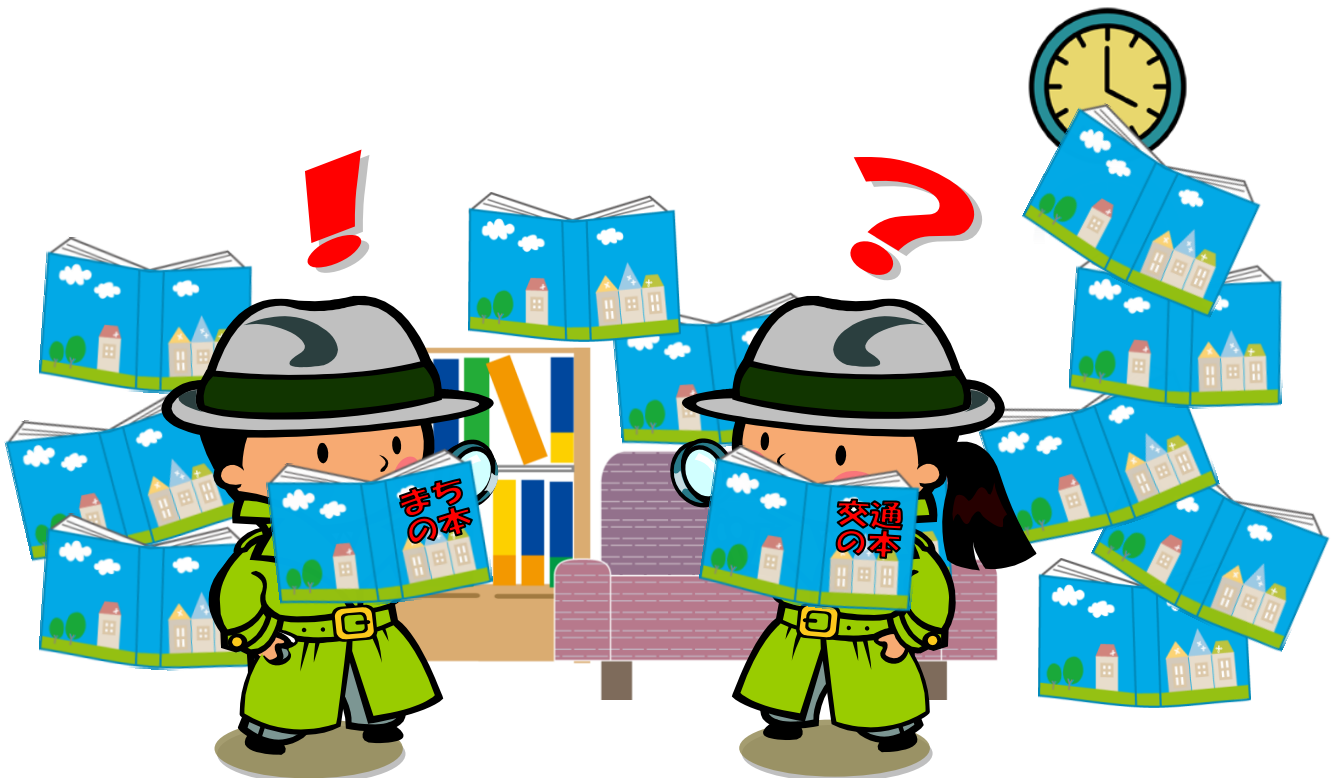
まちおくとみちこちゃん

ある日のこと

きょう 今日も、まちづくり探偵団員のまちおくとみちこちゃん
は、調べものをしていました。たくさんの資料を読むのも
たんてい しごと 探偵の仕事。

ほん 本にうもれそうになりながらも、まちおくとみちこちゃん
は、むかし はなし よ 昔の話を読みふけてました。

すると、ふしぎ はなし 不思議な話が…。



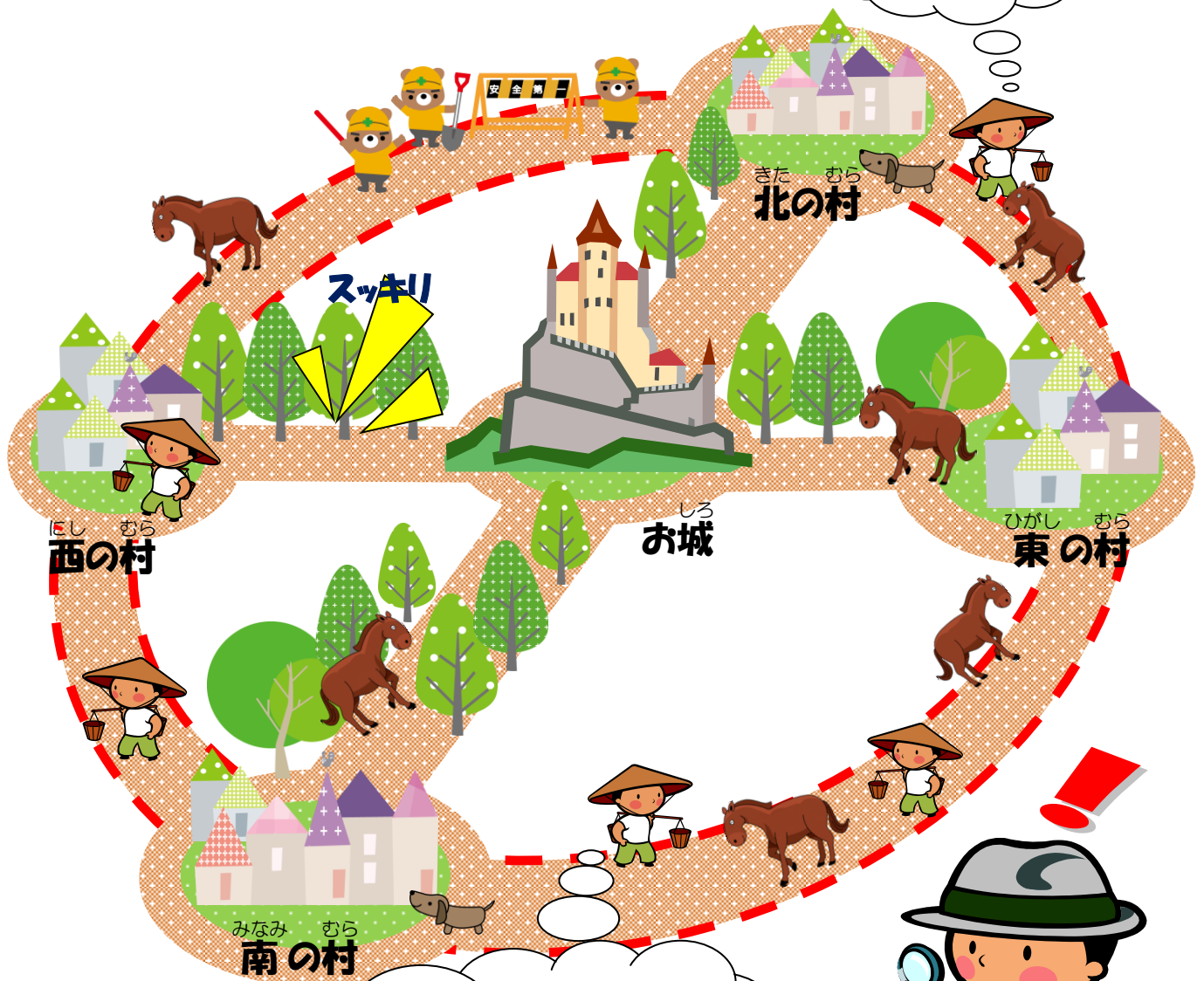
むか〜しむかし、あるところに、お城がまん中なかにあって、それを囲むように村がならんでいる国くにがありました。ところが、村からはお城につながる道が一本しかありませんでした。

そうすると、ほかの村に行くにはお城を通らねばならず、お城につながる道は、いつも人や馬でいっぱいになり、大変なことになっていました。



そこで王様は、それぞれの村をつなぐように、ぐるりと道を通しました。これで、ほかの村に行くためにお城への道を通ることが少なくなり、お城につながる道もすっきりしました。めでたしめでたし…と思いきや。

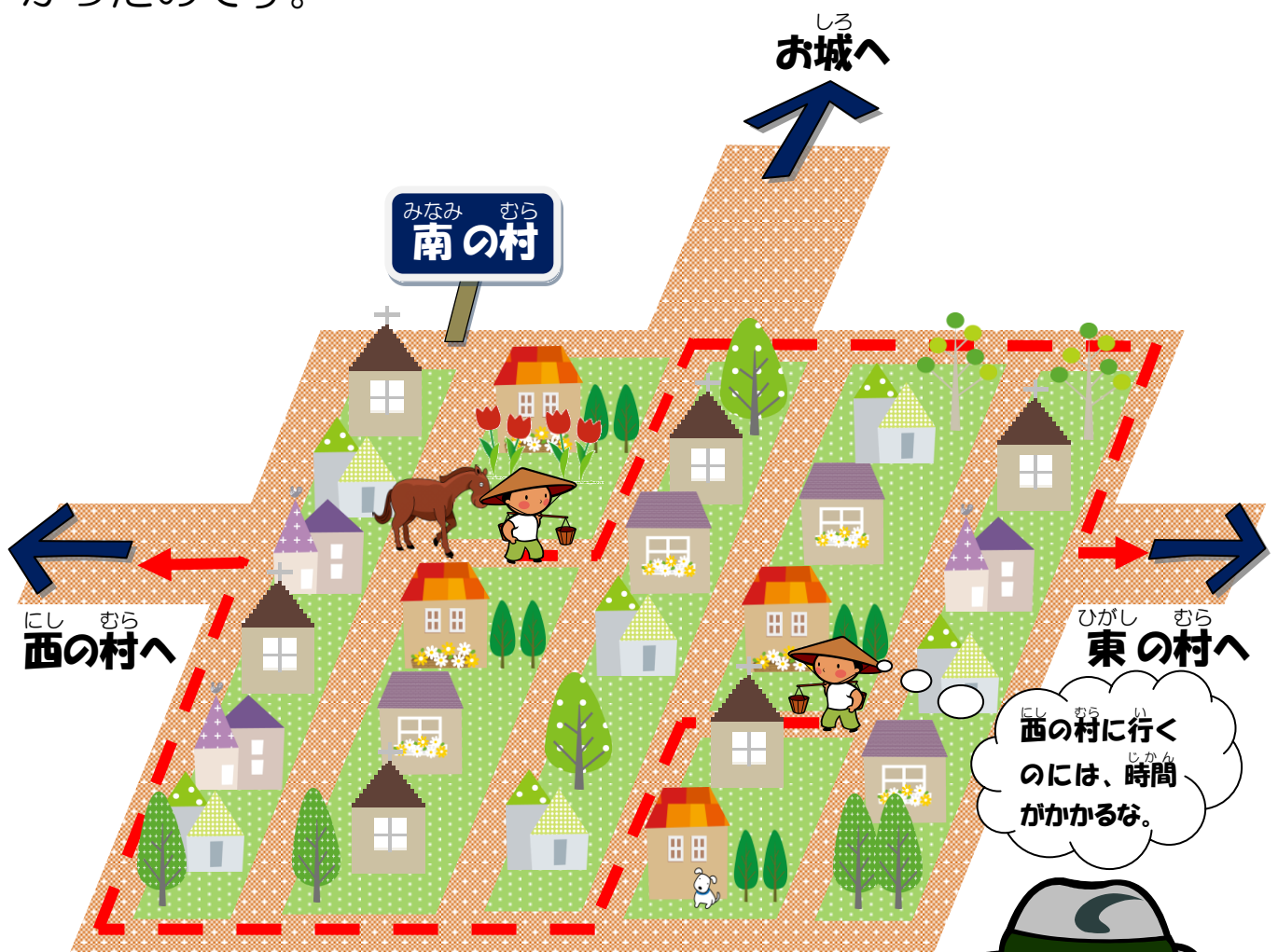
この道はとてもべんいだ。



この道を「環状道路」といいます。
環状とは、「輪のようなまわりかたち」のことです。



じつは、^{みなみ} 南の村では、^{むら} 村の道が^{むら} 村の道が^{みち} 村の道が^{しろ} 村の道が^む 村の道が^{おお} 村の道が
 かったのです。そのため、^{むら} 村の東^{ひがし} 村の東^す 村の東^{ひと} 村の東^{にし} 村の東^{むら} 村の東
^{むら} 村の西^{にし} 村の西^す 村の西^{ひと} 村の西^{ひがし} 村の西^{むら} 村の西^い 村の西^{じかん} 村の西
 ったのです。それに、^{だんさ} 段差のある^{みち} 道も^{おお} 道も^{ある} 道も^あ 道も
 ったのです。

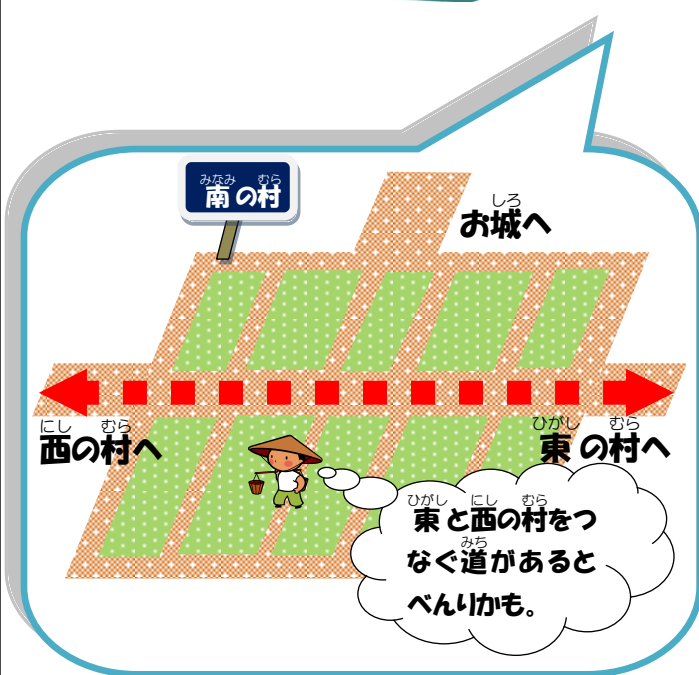


にし むら い
 西の村に行く
 のには、時間
 がかかるな。



そこで、^{みなみ}南の^{むら}村の^{そんちょう}村長と^{むらびと}村人たちは、^{むら}となりの^い村に行き
やすい、^{べんり}便利な^{みち}道を^{むら}村に^つ作ろうと^{なんど}何度も^{はな}話し^あ合いました。

また、^{みち}ただ^{とお}道を通すだけでなく、^{ひと}どんな^{とお}人でも通れるよう
に、^{だんさ}段差のない^{みち}道にしようなどと、^{はなし}いろいろな^{はなし}話をまとめ
ました。



しばらくして、^{みなみ} 南の村には、^{ひがし} 東の村と^{にし} 西の村をつなぐ^{みち} 道
 ができ、もともとあった村の道も段差のない道になりました。
 それからというもの、その村はたいへん住みやすい村にな
 りましたとさ。

めでたし、めでたし。



まちおくとみちこちゃんは、この話^{はなし}をまちづくり
探偵団長^{たんていだんちょう}に報告^{ほうこく}しました。

すると、団長^{だんちょう}は「その話^{はなし}は聞いたことがあるぞ。ただ、
それは言い伝え^{い つたえ}ではなく、実際^{じっさい}にあるといううわさだ。よ
し、そのうわさが本当^{ほんとう}かどうか調べてきてくれ。」

こうして、まちづくり探偵団員^{たんていだんいん}のみんなとまちおくとみ
ちこちゃんとの今回^{こんかい}の任務^{にんむ}が、まくを開ける^{あけ}のである。

さあ、うわさが本当^{ほんとう}なのか、その場所^{ばしょ}に潜入^{せんいゆう}しよう！！



まちづくり探偵団長^{たんていだんちょう}